

かぶとうずら、やまもとうがき

アカカブの会・記録 2017 no.6

最高ですね、20円均一って。これですね。均一。一緒だ。上から出でんでしょう。玉電ね。
統一運賃っていうのがあったんですね。戦中か何かに、子どもも大人も同一料金っていうの、あったら
しいんですよ。玉電は、ずっと均一料金だったんですね。20円。20円の時代が長かったですけ
ど。だいぶ後まで、均一

渋谷に回る、ターンするあれがあって。車が、随分カラフル。あれは、ターンはないです。ター
ンはないです。廃線した後。あのターンのある、あれはじゃあ、何だったかな。バス。バス?
電車、都電じゃない。路面電車がなってましたよ。それは、ないから。電車の所を、バスに乗り場
になったので。バスにな

後ろに車が渋滞してる。渋滞してる。（複数声かぶさり起こし不可）通勤でこれ使ってたら、遅れ
ませんか。トロリーバスがあった。トロリーバスあった。むちゃくちゃ遅れましたよ。だって、定時
運行なんかないですもんね。ないです。今みたいに、そんな時間厳守で。始発と終電のときだけだよ、
正確なの。

本村まで走ったんです、花電車は。ですよね。遊歩道になってますけど。そうですよね。なんとか（*
***ナカゴウチアト@01:07:46）。石の、道しるべみたいな。手を振りますよね。振りますよ
ね。手、振りますね。振ってるの分かってたのかな。ずっと振ってるんですか。ずっと振ってる
んだと思いますよ

電気に変わったけど、今の人たちって電気冷蔵庫って言わないでしょ。言わないですね。確かに。
もう冷蔵庫というの決まってるんだから。懐かしいです。私に近くなってきた。昔は、お魚も陳列して。
陳列っていうか、並べてありますからね。全部定点でもう一度撮影したいな。今はスーパーで、そこ
に起電機

路を見てると、道路の空気が何となく排ガスっぽくなっているように見えるんですよね。あの頃はね。こ
の頃から、徐々に汚染がひどくなって。光化学スモッグが出たの覚えとると？いや、あの頃か知らない。
うちの弟はぜんそくになって、空気のいい所に行きたいってんで、こっちへ来たんです。そうだったの。

穴アーカイブ：an-archive
せたがやアカカブの会 vol.12 後半
日時：2017年11月4日（土）14:45～15:30
場所：生活工房ワークショップルームB
参加者：16名
司会者：2名

キャプチャー画像：部分、玉電、昭和42、44年世田谷競馬場、三軒茶屋などモノクロ、カラー

穴アーカイブ

穴アーカイブ : an-archive

記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在（穴）から捉え直す反（an）アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30～50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。



せたがやアカバの会 The setagaya akabav circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。毎月開催。開催予定、上映内容は、生活工房HPまたはお問い合わせからご確認下さい。一見さん大歓迎。本誌くかぶうずら、やまいもうなぎは、当会の断片的・公式活動記録。

東急玉川線（「玉電」）の最終日に記念乗車するおばあちゃん（72歳）の記事です。このおばあちゃんは、玉電が開通した明治40年の初日に乗車したそうです。当時の玉電は多摩川の砂利を運ぶのが本業で、「上野毛も『荏原郡玉川村』で、しげ子さん一家（牛込出身）は『東京の人』といわれた」と書かれています。

出典：1969（昭和44）年5月11日朝日新聞（東京版）朝刊16面

玉電は私の半生

最後の日を飾ったおばあちゃん



60年来のなじみ

「ホタル狩思い出します」

各党とも条例化賛成

都議選での立会演説会

かぶうずら、やまいもうなぎ アカバの会の記録 2017 no.6

発行日：2017年12月15日

お問い合わせ：生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net

編集：せたがやアカバの会世話人（松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな）

主催・発行：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー

<http://www.setagaya-ldc.net/>

企画制作：remo [NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]

後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。

世田谷文化生活情報センター

生活工房

Lifestyle Design Center